

花壇づくりのヒント 12か月

9月 苗の選び方・植え方

夏の暑さが落ち着いてくると、花屋さんには秋の花や冬から春にかけて楽しめる花などがたくさん並び始めます。数々の種類の中からお気に入りの花を見つけて、ご自宅を彩る楽しさは花壇づくりの醍醐味です。今回は購入する花苗を選ぶ時に気をつけると良いポイントや、購入した花苗の植え方をご紹介します。

1. 苗の選び方

① 花や蕾の確認

花が咲いている苗の場合は、花の状態や、蕾が多いかを確認します。

② 葉の確認

葉の緑色が鮮やかで、病害虫の被害がないかを確認します。

下の方の葉が蒸れて黄色くなっていたり、虫に食べられたような跡があるもの、白い粉が吹いているものは避けましょう。

③ 茎の確認

茎が太く、しっかりとしていて、葉の間隔が詰まっているものを選びます。

茎が細く間延びしているものは、日照不足や水のやりすぎなどが原因で生育不良になっている可能性があるため避けましょう。

④ 株元の確認

ポリポットを持った時、株元がグラグラしていないかを確認します。

土がカチカチに張っている状態も根詰まりしている可能性があるため避けます。

⑤ 根の確認

根が白くしっかり張っているか、ポットの底から根が出ているかを確認します。

根が黒ずんでいたり、弱々しかったりする場合は避けましょう。

⑥ 品種の確認

育てたい場所の日当たりや風通しなどを考慮して、その場所に合った品種を選びましょう。

※苗のラベルをよく読み、育てやすい品種かどうか、開花時期や耐暑性などを確認しましょう。

・トレーの真ん中辺りの苗は間延びしている場合があるので良く見て選ぶ



・葉色が鮮やかなものを選ぶ



・下葉が黄色くなっていないものを選ぶ

【元気な苗】

花数が多く、
葉や茎が
しっかりしている



【避けた方がよい苗】

葉や茎がしっ
かりしておらず、
蒸れて下葉が
腐っている



長くお花や葉色が楽しめるおすすめの花を「なごや花の環ネットウェブサイト」⇒「知る」⇒「花壇づくりのコツ」ページで「おすすめ春冬植物」「おすすめ夏秋植物」として紹介しています。

2. 苗の植え方

購入してきた苗はポリポットのままでとすぐに根がいっぱいになったり、水が切れたりして生育には向かないので、なるべく早く花壇や鉢に植え替えましょう。しばらく置いておく場合は、蒸れないようにポットとポットの間隔を広げて保管しましょう。

また花苗を植える前に花壇や鉢に培養土を補充したり、土壌改良を行い、植え場所の準備をしておきましょう。

〈花壇に植える場合〉

① 植物が育つ大きさを考えて株間を取り、ポット苗を土の上に置いて、全体のバランスを見ます。
(1年草の場合は20~30cm程度株と株の間隔空けて植えましょう。)

② 配置した苗を奥から順番に植えていきます。

③ 移植ゴテで根鉢より少し大きく穴(植え穴)を掘ります。

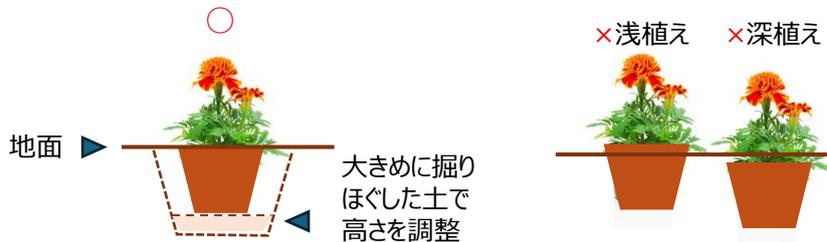
④ 根鉢を崩さないようにポットを外します。

⑤ 白い根が根鉢を覆っていたら、根鉢を崩して、枯れている根は取り除きます。

⑥ 植え穴に土をいれ、地面の高さと根鉢の高さと同じにします。



ポットをそっとひっくり返して抜くと、根鉢が崩れにくい。



浅植えや深植えは避け、株元と地面の高さと同じになるよう植え穴の高さを調整する。

⑦ 根鉢と植え穴の隙間に土を戻し、水をやった時土が沈んだり苗が倒れたりしないよう、上から手で押さえます。

⑧ 最後に水がしみこむぐらいたっぷりと水を与えます。植替え後1週間~2週間して根が動き出すまでは表面の土が乾いてきたら水を与え、水切れに注意しましょう。

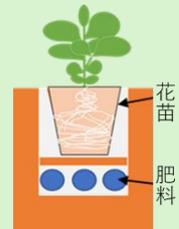
【土壌改良のワンポイント】

花壇は、花を植える1, 2週間前に花の根が育つ深さ約20cm程度土を耕し、ゴミを取り除き、化成肥料や堆肥を加えます。1年に1回程度は苦土石灰も施し、土が酸性に偏りすぎないようにしましょう。



◆土壌改良材目安 1mあたり
・堆肥 10ℓ
・苦土石灰 100g
・緩効性肥料 種類により適量

鉢植えなど、植える株数が少ない場合は、植える苗の下に化成肥料を3粒程度まいておくと、伸びた根が効率的に肥料分を吸収します。



1株に3粒程度肥料と根の間には必ず土を少しはさむ

〈鉢に植える場合〉

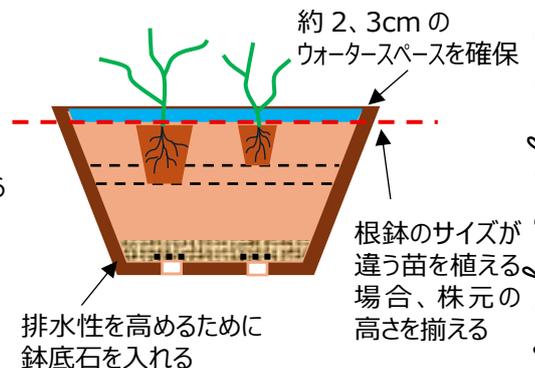
① 鉢の底に、鉢底ネットと鉢底石をいれます。

② ポットから外した苗を鉢の中央に置き、苗の根を傷つけないように、周りに土を追加します。

③ 土に水がしみやすいウォータースペースを確保するため、鉢の縁から約2, 3cm下がった位置まで土を入れます。

④ 水やりは鉢底からたっぷり流れ出るぐらい与えます。

⑤ その後は土の表面が乾いたら、水を与えてください。



★次回10月は『球根植物について』をご紹介します。

※資料は個人でのご活用に残めていただけますよう、よろしくお願ひします。